

平成29年度 第2回 学校協議会

日時：平成29年12月1日(金) 14:00～16:30

場所：本校 校長室

参加者：学校協議会委員（福永氏、中村氏、高木氏、山崎氏、志賀氏、村上氏）
浅田校長、及び事務局（平野教頭、中川首席、境谷首席）

校長挨拶

本日はまず、6時間目の授業を参観いただきます。また、後ほどお示しする資料などをご覧いただき、改善すべき点などについてご意見をよろしくお願いいたします。

授業参観（6限目：14:00～14:50）

3年生理型化学、2年生理型物理、1年生数学Aについて、授業教室を訪ねて見学した。
その他の授業についても、廊下から様子を参観した。

報告

報告① 平成29年 7月授業アンケート結果について、教頭より報告

報告② 平成29年度 遅刻者数の推移、文化祭総括、修学旅行実施計画について、教頭より報告

協議

はじめに、村上委員より、12月考査以後に遅刻者が増える要因について質問があった。校長より、受験期の生徒のいろいろな思いが交錯していると分析している。平成27年度からは、12月考査以後の3年生の授業を受験対策を軸とした特別編成授業としたことで、遅刻者は大幅に減少している。と説明した。

福永委員より、文化祭の保護者の方の来場者数も相当あると評価していただいた。生徒は文化祭の準備に費やす時間は比較的短いが、十分な達成感を得ており、保護者の方も楽しみにしていただいていると説明した。次に、修学旅行については海外ということもあり、旅費について予算上厳しいと思うが、何人の引率教員で実施しているかと質問があった。引率は管理職を含めた15人としている。保護者説明会では、グアムを目的地とすることに関して多くのご意見をいただいた。学校としてできる安全上の配慮は充分に行なっていくと説明した。

高木委員より、授業アンケートに関連して、評価が高い先生の授業を参考に他の先生が学べる環境にあるか、また先生の評価と生徒の成績に相関はあるのかと質問があった。校長より、教員集団の雰囲気は良好で、互見授業や研修で学び合いをする機会を多く設けている。生徒評価は学年進行につれて人間関係ができていくことや教科の専門性で変化する傾向もあり、成績との相関には色々な要素が関係するが、授業研究に努力している先生は確実に生徒評価が変わっていく。と説明した。

また、村上委員より、国語、特に現代文について、入試を意識した学習はできるのかと質問があった。校長より、国語では論理的思考法を学習するので、本来、他の教科との関連性が最も高いと説明した。また福永委員からは、学んだ先で何ができるようになるか、教科の枠を超えた資質能力の向上が求められている。とご教示をいただいた。志賀委員からは、高校生は全履修内容の何割ぐらいの成績をとればどこに合格できるか、その時々、高校3年間を通しての学習進捗状況における現在の自己の位置づけや、全国レベルにおける相対的な学力の位置などを知りたい。またそれが分からないから不安に陥ることがある。その不安要素を解消してあげたい。とご意見いただいた。校長より、高校3年間の学習総量がどれだけあるかは振り返りシートを先に渡すという作業で確認できる。今後の課題としたい。最後に中村委員から、実行力があり直観的に自らの最終形が見えている生徒が成功する。とご教示いただいた。

そして校長より、次回の学校協議会は12月に実施する生徒、保護者、教員対象の学校教育自己診断の結果をふまえ、次年度の学校経営計画作成のための委員の皆様のご意見をいただきたいと依頼し、開催日程を調整することとした。